



祝！アカッコ館 30 周年！毎月 30 日は入館無料

# あかっこ



あかっこはインターネットでカラー版が見られます。http://www.wbsj.org/sanctuary/miyake/

## 見る角度で色が変わる？美しい羽のカラスアゲハ

島内のいろんなところで、ガクアジサイの花が観られる季節になりました。今回は、今の時期に目立ってくるカラスアゲハというチョウについてご紹介します。

カラスアゲハは、その名の通り全身が黒いアゲハチョウですが、ただ真っ黒というわけではありません。その羽の表には、見る角度によって青や緑色に見える美しい光沢があります。この色は、羽の表面のとても細かい構造が、特定の光を強く反射することで作りだされています。光の当たり方によって、強く反射される光が違うため、見る角度によって違う色に見えます。このような色は「構造色」と呼ばれ、さまざまな生物で見られます。

三宅島でも、例えば最近よく目にするカナブンに似た虫（リュウキュウツヤハナムグリ）、熱帯魚を中心とした魚たち、カワセミなどさまざまな鳥で目にするすることができます。

三宅島のカラスアゲハは、ハチジョウカラスアゲハという亜種で後ろ羽の青い部分が濃いという特徴があり、本州のものよりも美しいと感じる人も多いようです。

梅雨の季節ですが、雨あがりの水溜まりには水を飲むためにカラスアゲハはやってきます。この時は羽を広げていることが多くその模様をじっくり観察できます。

また梅雨の晴れ間、太陽の日差しを受けてキラキラ光るカラスアゲハはハッとするくらい美しいです。ぜひ観察してみてください。  
(文 T・K、絵 H・M)



### ■無料開館のお知らせ

バードアイランド三宅島にちなんで、毎月酉（鳥）の日が入館無料になります。6月の無料開館日は8日（木）、20日（火）です。また開館30周年記念で毎月30日は無料開館です。

三宅島自然ふれあいセンター・アカッコ館

2023.06 vol.315

■開館 9:00~16:30 ■休館日 月曜日（祝日の場合はその翌日）■利用料 200円（中学生以下と65才以上は無料）

■〒100-1211 東京都三宅島三宅村坪田 4188 ■TEL 04994-6-0410 ■FAX 04994-6-0458

■E-mail miyakejima@wbsj.org ■HP <http://www.wbsj.org/sanctuary/miyake/>（こちらからはカラー版をダウンロードできます。

こちらのQRコードからアカッコ館ホームページにアクセスできます→



## イベント情報

### ミヤケヘビギンポ観察会

島の名前をもつ、アカッコ色の小さな魚をさがそう。

参加費  
無料

- 【開催日】6月4日(日)、18日(土) 【時間】9:30～10:30  
【場所】長太郎池または土方海岸 【対象】ひとりでシュノーケルできる方  
【定員】5名(要申し込み) 【申し込み締切】それぞれ2日前まで  
シュノーケルベストや子供用ウェットスーツの貸し出しもできます。  
必要な方はお申し付けください!

### 親子で楽しむ身近な自然観察

小さなお子さん(保育園～小学校中学年くらい)とその保護者で  
野鳥や虫、花などを楽しむ観察会です。

参加費  
無料

- 【開催日】6月25日(日) 【時間】9:30～10:30  
【対象】小さなお子さんとその保護者  
【場所】釜方海岸てんぐさ加工場前 【定員】なし(要申し込み)  
【持ち物】帽子、飲み物、あれば虫取り網・観察できる飼育ケースや虫かごなど

お申込み・お問い合わせ

アカッコ館 TEL:04994-6-0410 MAIL:miyakejima@wbsj.org

## ●これからはカラスバトが観やすい時期です



カラスバト



タブノキの実

カラスバトは、日本最大のハトの仲間  
で、国の天然記念物に指定されている貴重  
な鳥です。名前の通り全身が黒いハトで、  
三宅島ではクロバトとも呼ばれていま  
すが、首元には紫色や緑色に見える光沢が  
あります。この色も構造色的一种です。

三宅島では深い森で「ウッ、ウー」とい  
う牛のような鳴き声を聞くことができ  
ますが、警戒心が強いことから、姿を見るのは  
なかなか難しいです。

そんなカラスバトですが、好物である  
タブノキの実が熟す6～7月頃は比較的観  
察しやすい時期です。都道沿いなどの明  
るいところでも見られるため、ぜひ探  
してみてください。